

新可燃ごみ処理施設運営基準検討委員会
意見まとめ

第1回委員会（平成30年12月22日開催）及び第2回委員会（平成31年2月2日開催）で出された意見を以下のとおりまとめる。

【意見】

1. 排ガス等の基準については、かねてから、よりクリーンなものを求めてきた。地域の人のために、環境基準に沿ったできるだけクリーンな施設にしてほしい。
2. しっかりと運営を監視・モニタリングしてほしい。
3. 公害防止のための運転に関する情報を、正確に、かつ、速やかに発信し、透明な運営を望む。
4. 運転停止に至らない基準値超過の際も、その原因の追及を行うこと。
5. 水銀等有害なものが可燃ごみに混ざることがないように、構成団体には入口対策をしっかりとお願いしたい。
6. 収集車両の排気ガスによる地域への影響を少なくするために、低公害車両の導入を求める。
7. 人が健康に暮らせるための望ましい基準として環境基準がある。組合の自主基準値も問題ない。しっかりと決めた基準を守り、それを安定して維持すること。
8. 地震・水害等の災害時の対策をしっかりと行うこと。
9. 運転を停止する際は、残存ごみに対する排ガス処理を徹底する等出来る限りの対策をとること。
10. 外部からのハッキング等に対し、万全のセキュリティ対策をとること。
11. 浮遊する飛灰の飛散防止策に万全を期すこと。
12. 今後も継続的に地元住民に対し、施設のしくみについての説明を聴ける機会がほしい。